

# 小児科ってどんなところ??

当院の小児科は、平日午前・午後、土曜午前の小児科外来と、入院を必要とする子ども達のための病棟として、B3病棟に小児科病棟、B4病棟にNICU（新生児集中治療室）があり小児科医師5人で日々診療にあたっています。

## 何歳まで小児科なの?

基本的に、生まれた瞬間～15歳まで（中学生まで）を対象にしています。しかしながら、特殊な病気ですと小児科で診察している子など病気によっては15歳を超えて大人になっても小児科で診察をすることもあります。また、生まれる前のお母さんのお腹にいる段階から、産婦人科の医師と一緒に診療を行うこともあります。

15歳になっても小児科なの!?!と驚かれる方もいるかもしれませんが、思春期ならではの悩みや心配などにも小児科は対応しているんです。



## どんな病気を診ているの?

実際のところ、けが・事故以外の子どもの病気は小児科で一度は診察されることが多いのが現状です。しかし、基本的には大人でいう「内科」に相当する病気を診ています。ただ、小児科では子どもの「からだ」と「こころ」を全体で見ているので、他の科とははっきりとした境界線を引くことが難しいのです。もちろん、必要があると判断すれば他の科の医師に依頼をして一緒に診察を行っています。耳鼻科、外科、泌尿器科、整形外科、皮膚科、眼科、脳神経外科、産婦人科、精神科など多くの科と協力して診療をしています。

小児科ならではの「乳児検診」と「予防接種」があります。これらは病気を治療するのではなく、病気を早く見つける・病気を予防するといった点で他の科にはない素敵なシステムだなと思っています。

乳児検診は1ヶ月、4ヶ月、10ヶ月、（1歳）という発達や成長の節目となる時期に、身体測定・診察をして、発達に異常がないか・病気がないかどうかを診ています。



小児科 医師  
村井 美輝



また、現在は様々な育児に関する情報が氾濫しており、育児に迷いを感じているご家族も多くいらっしゃいます。乳児検診ではこのようなご家族の相談に乗り、正しい情報を提供することもしています。

予防接種は、BCG・三種混合（ジフテリア・破傷風・百日咳）・MR（麻疹・風疹）・2種混合（ジフテリア・破傷風）・日本脳炎の定期接種と呼ばれる、皆が必ず接種しなければならない予防接種（ポリオは自治体での接種になります）と、インフルエンザ・おたふくかぜ・みずぼうそう・Hibなど希望者のみ接種する予防接種（自費）もあります。今後、子宮頸がんワクチン（自費）や肺炎球菌ワクチン（自費）などの予防接種も取り扱っていく予定です。（2010年4月現在）

## おわりに..

小児科は、子どもの病気だけではなく、子ども達の未来や取り巻く環境など「子ども」に関すること全てに、微力ながらも力になればと思っています。

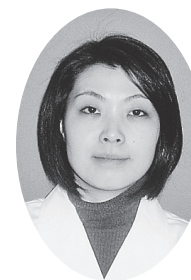
## 新任医師紹介



整形外科  
えぐろ たけし  
**江黒 剛** 先生  
出身校/昭和大学  
趣味/野球・ゴルフ・スノーボード  
丁寧な診察を心掛けます。  
お気軽に御来院ください。



眼科  
しづとめ のりひさ  
**五月女 典久** 先生  
出身校/愛知医科大学  
趣味/家族  
目のことでお困りのことがあったら  
お気軽に御来院ください。



産婦人科  
やまぐち わかさ  
**山口 和香佐** 先生  
出身校/滋賀医科大学  
よろしくお願いいたします

## “地域医療連携室” ってご存知ですか?

地域医療連携室（旧：病診連携室）では、紹介患者様の受け入れを行っています。

下記のような方は予約を取ることが出来ます。

- ★紹介状をお持ちの方
- ★健康診断（人間ドック・会社の健康診断など）を受け精密検査が必要になった方
- ★7月から始まる市の検診（各種がん検診・特定健診）を受け精密検査が必要になった方

### ①まずは、お電話ください!

- ・電話にて、診察の予約を致します。
- ・氏名・生年月日・住所・連絡先、紹介元又は一次医療機関名などを伺いカルテの準備を致します。

### ②予約票を郵送!

予約完了後、ご自宅に予約票を郵送致します。

- ※ 受診時には、健康保険証・紹介状又は検診結果表を必ず持参して下さい。
- ※ 予約でも、診療までに待ち時間が生じることがありますのでご理解をお願い致します。
- ※ 診療科によっては、予約をお取りできないこともありますのでご了承下さい。

聖隷沼津病院 地域医療連携室  
病診連携係

TEL 055-952-1000 内線2271